

坂のまち、神戸。

2025年度坂アンバサダー 活動レポート

神戸の風景に当たり前にある「坂」の魅力を、
熱い思いを持って発信する人たちとして、神戸市から任命された「坂アンバサダー」。
80組もの応募から選ばれた、個性豊かな5組の坂アンバサダーが
2025年8月から2026年2月にかけて取り組んできたオリジナリティあふれる活動をご紹介します。



撮影地：灘区「地獄坂」

2025年度 活動の歩み

8月



2025年度坂アンバサダー任命式

11月



SAKABA - 坂場 - 2nd
(中間活動報告会)

10月



SAKABA - 坂場 - 1st
(中間活動報告会)

3月



SAKABA - 坂場 - FINAL
(最終活動報告会・修了式)



主催：神戸市 2025年度運営事務局：一般社団法人 SAZARE

坂は、日常に溶け込む風景を、
物語として立ち上げてくれる存在。

青島ほなみ / 学生兼ライター

大阪音楽大学在学、音楽と地方創生をテーマにイベント企画や発信について学ぶ。フリーライターとして、神戸新聞社まいどなニュース特約ライターを務め、関西を中心にSNSで話題の人やコンテンツを取材・執筆。あわせて、アイドルメディア「MAITSU」編集長として、インディーズアイドルの新たな活躍の場づくりを目的に、コラムやインタビュー、ラジオ番組やライブイベントの制作にも取り組む。

推し坂：恋訪坂（神戸市長田区）



坂の、ここが好き。

私は神戸の街を歩いたときに感じた、「坂の多彩さ」に強く惹かれました。一本路地を曲がるだけで景色や空気、人の気配が変わる。その体験は、坂が単なる移動手段ではなく、日常と記憶が重なり合う場所だと教えてくれました。地元の方にとっては当たり前の風景でも、外から来た視点では物語の入口に見えます。これまでライターやメディア運営者として、人や街の背景を言葉と写真で伝えてきた経験を活かし、神戸の坂が持つ奥行きや魅力を発信したいと考え、応募しました。

坂アンバサダーとしての活動

活動の軸は、「神戸の坂をエンタメとメディアで可視化し、訪れたい体験に変えること」です。具体的には「神戸スキップ坂」という記事連載企画を実施しました。アイドルに実際に坂を歩いてもらい、その視点をレポートとしてラジオ関西トピックスやXを通じて情報を広く届け、坂を知るきっかけを多面的に創出しています。さらに、オリジナルTシャツの制作・販売や聖地巡礼を促す企画を通じ、坂を一過性の話題ではなく、継続的に関わりたくなる文化として育てることを意識して取り組みました。

神戸スキップ坂
KOBE SKIP ZAKA



活動を通じての気づき・学び

活動を通して最も印象的だったのは、想像以上に神戸の坂が急で立体的な街であるという事実でした。大阪在住の私にとっては驚きの連続でしたが、地域の方にとっては坂が特別なものではなく、生活に自然に溶け込んでいる存在だという声が心に残っています。



一方で、坂を歩くだけで景色や空気が変わり、街を体験できる面白さがあることにも気づきました。意識しなければただの道である坂が、視点を変えることでエンタメや観光資源になり得る。神戸の魅力は平面ではなく、この立体性にこそあるのだと、私自身の街の見方が大きく変化しました。

これから、取り組んでみたいこと

今後は、神戸の坂をテーマにしたZINEを発行し、坂にまつわる風景や人の声をゆるやかに記録していきたいです。また、思わず手に取りたくなる坂モチーフのグッズ制作にも挑戦してみたいと考えています。さらに、坂という場所そのものを楽しめるアイドルフェスなど、地元の人や来訪者が自然に交わる場づくりにも広げていけたらと思っています。

いつも何気なく歩いているその坂も、
少し立ち止まって振り返ると違う景色が見えてきます。
皆さんも是非、お気に入りの神戸の坂を、
見つけてみてください！

坂は、宝探しのよう存在。

オカダユータ / シンガーソングライター

神戸を拠点に、全国で音楽活動・作家活動を行う。

KOBE まちなかパフォーマンス登録アーティスト。

推し坂：篠原伯母野山町の激坂（神戸市灘区）



坂の、ここが好き。

神戸の街の、坂の上からの風景の素晴らしさ。

音楽活動を通して、地元神戸の役に立てるようなことをしてみたかったこともあり、全国で活動する中で出逢う県外の方々に、この風景の素晴らしさを見て欲しいと思うようになりました。自分自身がその架け橋になればと考え、アンバサダーに手を挙げました。

坂アンバサダーとしての活動

音楽と坂の魅力を発信する地域密着型イベント「坂の上のジャンボリー」を、2025年11月22日（土）・23日（日）に開催しました。神戸の坂を代表する坂のひとつ「北野坂」にある北野町広場にて、たくさんのアーティスト・飲食店と一緒に作り上げた、ミュージックマルシェです。2日間で700名を超える方々にご来場いただきました。

～神戸市坂アンバサダー オカダユータ Presents
ミュージックマルシェ「坂の上のジャンボリー」～



日時：11月22日（土）・23日（日）11:00～16:00

会場：北野町広場（観覧無料）

出演：オカダユータ / 戸田明香音 / 南京玉すだれ
Chii / しゃぼんだまきなこ / 優利香 / フルート
3重奏 / わかな & W みき

出店：AMO'S CREATE / あきさだ農園 / のわのわ
カフェ / MOON BREWERY / 酪と酵母 /
ametista / MOON BREWERY / 鉄板焼 空海

坂アンバサダー出演：オカダユータ / ひより /
青島ほなみ / 東大作

司会：田中覚

その他、各種 SNS で「坂道さんぽ」として坂の魅力発信を行いました（YouTube / Instagram / X）。

活動を通じての気付き・学び

アンバサダー活動を通して一番驚いたのは、「坂の街」神戸にお住まいの地元の方も、坂についての知識や興味がほとんどなかったことです。しかし実際に坂道に足を運び、汗をかき坂を上り美しい景色を目の当たりにすると、一転すっかり坂のファンになります。



SNS で写真をシェアし、口コミでお友達が集まり、今度はみんなで記念撮影！坂のファンはどんどん増えていきます。知っているか知らないか、ただそれだけ。粘り強い情報発信が、やがて賑やかなコミュニティに育つと感じています。これからも多くの人に坂の楽しさを届けていきます。

これから、取り組んでみたいこと

SNS などで取り組んだ「坂道紹介」は、県内外の方から大変好評でした。坂の紹介だけでなく、道すがらのお店や地域ならではのトピックなどを、今後も引き続き発信できたらと考えています。

神戸には数えきれないほどの坂があります。
皆さんも是非「とっておきの坂道」を、
ご自身で見つけてください！

坂は、人生を良くする場所。

川地智之 / 会社員・アスリートキャリアコーディネーター

趣味でトレイルランニングに取り組みつつ、それに伴うイベントの開催や SNS の発信を行う。

推し坂：銅鐺坂（高羽交差点から桜ヶ丘銅鐺・銅戈群出土地に向かう坂）
（神戸市灘区）



坂の、ここが好き。

私は、趣味でトレイルランニングをしています。神戸の坂を走ることが、私の日課になっています。ただ、最初から坂が好きだったわけではありません。10年ほど前、体調を崩したことがきっかけで、自宅の裏にある坂道を、ただ歩くところから始まりました。そこから少しずつ距離が伸びて、今では毎月 500km 前後、累積で 20,000m ほどの坂や山を走るようになりました。国内外の 100km や 100 マイルのレースにも出るようになり、気がつけば坂は、私の生活の中心にありました。

神戸の坂の好きなところ。それは登るたびに世界の見え方が変わるところです。海と街と空の距離が、少しずつ変わっていく。その連続が、神戸という街の個性だと思っています。それともう一つ。坂はしんどい。でも、振り返るとさっきまでいた場所が遠くに見える。自分が確かに前に進んだことが、目に見えてわかる。楽ではないけれど、心に残る。坂には、体だけでなく、気持ちまで少し高い場所に連れていってくれる力があると感じています。

坂アンバサダーとしての活動

毎週水曜日の夜、神戸市灘区・王子公園周辺で「坂道クラブ」というグループランを開催しました。その日集まった人たちと一緒に、毎週コースを変え、灘区周辺の様々な坂道を走るイベントです。また、週末には、「神戸八社巡り」など、観光と坂を掛け合わせたランニングイベントも不定期に実施しました。併せて、こうした活動や、日々の気づきを、Facebook・Instagram・note といった SNS で発信してきました。



活動を通じての気付き・学び

正直に言うと、最初から坂が支持されるとは思っていませんでした。でも、やってみてわかったのは、坂は圧倒的に強い「アンカー」だということです。

坂には、AI ではつくりえないものがあります。地形や構造だけでなく、そこに積み重なった人の記憶や感情、歴史、物語。それらすべてが坂に宿っている。だからこそ、坂は現代において非常に優れたコンテンツになりうる。そして同時に、まだほとんど使われていない資源でもあります。

坂はすでにある。でも、その価値はまだ眠っている。これをどう活かすかで、街の見え方も、人の生き方も変わる。坂は単なる地形ではなく、これからの時代に必要な「装置」だと考えています。



これから、取り組んでみたいこと

坂での活動を、より日常に根付く文化へと育てていきたいと考えています。その為に、みんなが目指すものを持ち寄れる場を続けたいと思います。

神戸で生きる。その日常の選択の中に、自然と坂が入り込んでいく。それが文化になるということだと思います。そして最終的にやりたいのは、人生を前に進める人を増やすことです。その手段として坂が選ばれるなら、それはすごく嬉しいし、神戸という街が、そうした挑戦を受け止める場所になれば、もっと面白い。

坂はなくなりません。そして人生も続いていく。だからこそ、この街の坂が、誰かにとっての「人生を良くする場所」になってくれたらいいなと思っています。坂を介して人と場所、人と人の結び目が増える活動、人生を良いものにしていく活動を神戸で広げていきます。

あなたにとって、

人生を良くするための手段は何ですか？

もしその手段が坂道であれば、

神戸はあなたにとってぴったりの街だと思います。

坂は、人生そのもの。

自転車好房ラルプデュエズ（代表：東 大作）

自転車販売・修理業の他、観光コンサル・ガイドも行う。

推し坂：有馬街道（国道 428 号）（神戸市兵庫区）



坂の、ここが好き。

海星病院（神戸市灘区）に生まれた時から、私と坂との縁は始まっていました。当時住んでいた家は神戸電鉄・丸山駅の正面にあり、2歳の頃家の横の細い激坂を三輪車で下る事の快感に目覚めたことは、今でも記憶に残っています。その後花山に移り住んでからの遊び場は、双子山や六甲山でした。学生の頃に、自転車競技でヒルクライムにハマった事から、坂道の聖地「ラルプデュエズ（フランス）」の名前で自転車店を開業。坂は、自分にとってずっと身近にあったものだったことから、坂アンバサダーの募集を見て「我こそは！」と応募しました。

坂アンバサダーとしての活動

ポタリング（自転車でお散歩）イベントの開催や、激坂マップの作成に取り組みました。

激坂マップ作りでは、これまで走ったことのある神戸市内の激坂を中心に、神戸市内の坂をピックアップして最大斜度の調査を実際に実施。神戸の激坂が日本一である根拠を求めて、他府県の坂道も調査しに行き、比較できるようデータ集めもしました。

また、坂アンバサダー活動を多くの方に知ってもらいたいとの思いから、TV取材など坂アンバサダー5人全員が目目されるようにメディアと連携しました。坂道ポタリングは、開始時間が朝8時が早かったためかあまり参加者数は多くありませんでしたが、InstagramなどのSNSでの発信は継続的に取り組みました。



完成した激坂マップは、
右記二次元バーコードからご覧ください。
※アンバサダーが独自に調査・作成したものです



活動を通じての気づき・学び

坂道を調査していて、それぞれの坂道でご年配の方と出会い、会話をすることが多かったのですが、80代・90代の方でも、杖を使わずに激坂を歩く方が非常に多く驚きました。坂のまちと、健康年齢のつながりについて、考えるきっかけになったように感じています。



また、毎日登山や坂道を日々歩いている方々と接してみて感じたことは「心の豊かさ」でした。出会う方々みな、コミュニケーションを楽しんでいるのが印象的でした。激坂マップ作成のために他地域も調査したことで、改めて神戸の坂道のもつ「厳しさや優しさ、美しさ」を知ることができて、より一層この街に住むことに誇りを感じるようになりました。

これから、取り組んでみたいこと

私は自転車屋を営んでいることもあり、神戸市内の激坂を知り尽くしています。自転車の乗り方やサイクリングの楽しみ方、その地域にあった車種のアドバイスを、引き続き届けていきたいと思っています。また、より多くの方に神戸の魅力を知ってもらい、今回の活動からの気づきを活かして、市民の健康づくりやコミュニティづくりにも協力していきたいと思っています。

近年 年々郷土愛が薄まってきていると耳にします。
私たちが作った「激坂マップ」を見て、
知っている坂道や思い出の坂道を見つけたり、
行ってみたいと感じる坂道を見つけたり、
この街に誇りを感じていただくと幸いです。
ぜひもっと我がまち神戸を好きになってください！

坂は、よそ者だった私を、
人と街とに繋ぎ、神戸の一員にしてくれた。

ひより / クリエイター

東灘区・垂水区・須磨区を中心に、神戸を拠点に活動するクリエイター。自治体や民間企業のPR案件に携わるほか、モデル・フォトグラファー・店舗のブランディングアドバイザーとしても活動する。

推し坂：離宮道（神戸市須磨区）



坂の、ここが好き。

神戸に来てから、気づけば、カメラを片手に路地や坂を歩き回るのが日課になっていました。暮らすうちに、次第に坂に愛着を感じるようになっていたところ、坂アンバサダーの募集記事を偶然見つけ、坂への愛と発信力、神戸の地理感覚には自信があり、迷わず応募しました。（坂アンバサダーの任命式は自身の誕生日の翌日だったこともあり、最高の贈り物になりました笑）

坂アンバサダーとしての活動

SNS（ブログ・Instagram・Threads）で、おすすめの坂と周辺のカフェ・喫茶店を発信。加えて、毎月小規模の坂道散策会を開催し、地域の坂を深く知っていただく機会を作りました。2026年1月には神戸市東灘区地域協働課と連携し、クリエイター塾生に対して講師として、喫茶店での撮影のコツや坂の撮影ポイントを共有しました。

- ・ Instagram：#ひよりの推し坂
- ・ 個人ブログ：「#神戸の坂」シリーズ
- ・ 富士フィルム X シリーズ公式メディア『IRODORI by Xseries』
「富士フィルム X シリーズとそぞろ歩き〜ひより × フィルムシミュレーション『クラシッククローム』× 神戸・須磨〜」
- ・ テレビ
NHK「リブラブ兵庫」内「列島ニュース」出演
読売テレビ「かんさい情報ネット ten.『ナニ!? パーサリー探偵団』」出演
- ・ オフラインイベント
塩屋や月見山、御影・六甲にて、坂歩き・撮影・周辺喫茶を紹介するイベントを開催（全5回）



活動を通じての気づき・学び

活動を通して、同じ坂でも時間帯や季節、歩く人の背景で見え方が変わることを改めて実感しました。散策イベントでは「いつも通るのに名前を知らなかった」「海が見えるだけで気持ちが軽くなる」といった声が印象的でした。



一方で、段差や暗い路地に不安を感じる方もおり、魅力発信と同時に、安全面や導線の工夫も大切だと視点が広がりました。また、坂の途中にある喫茶店や小さな店を紹介すると、地域の方との会話が増え、坂が暮らしの接点になると感じました。今後は来訪者にも届くよう、多言語での説明や地図の見せ方も工夫したいです。

これから、取り組んでみたいこと

任期は半年ですが、坂は神戸の地理文化そのものだと感じています。今後は坂と純喫茶をセットで巡る小さな散策会や写真展示を継続し、区役所や地域団体とも連携を深めたいです。母語の中国語に加え日本語でも発信し、国内外の人が坂と街を好きになる入口を増やします。

坂を一本曲がると景色も気分も変わる神戸。

あなたの推し坂と、そこで見た景色を是非教えてください。